

(一般会計)

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方法

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
有価証券 — 総平均法による原価基準を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却について
建物及び什器備品は、減価償却を実施していない。ただし、当期において耐用年数を経過した什器備品については、除却損として費用処理した。
- (3) 引当金の計上基準について
退職給付引当金 — 今期は計上していない。
- (4) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金、預金、未収入金、立替金、預り金、未払金及び前受金を含めている。
- (5) 消費税の会計処理について
消費税は税込処理している。納付額は納付した事業年度の経費としている。

2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資有価証券	28,000,000	27,426,560	28,000,000	27,426,560
定期預金	0	573,440	0	573,440
合計(基本金)	28,000,000	28,000,000	28,000,000	28,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金及び預金	2,771,573	△422,159
未収入金	4,169,391	1,768,491
立替金	65,442	65,442
前払金	34,690	0
合計	7,041,096	1,411,774
預り金	750,574	57,459
未払金	7,066,311	818,949
前受金	30,000	10,000
合計	7,846,885	886,408
次期繰越収支差額	△ 805,789	525,366